

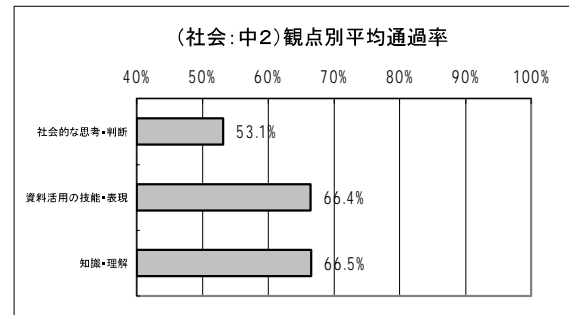
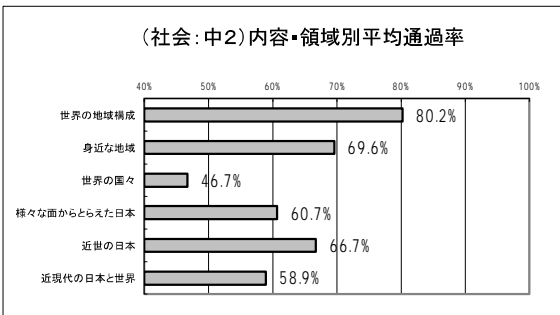
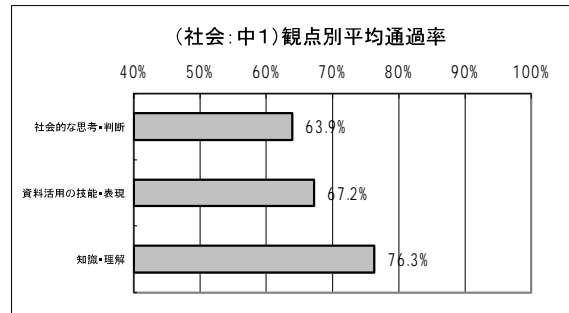
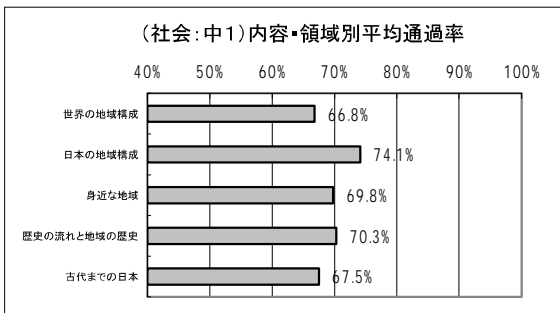
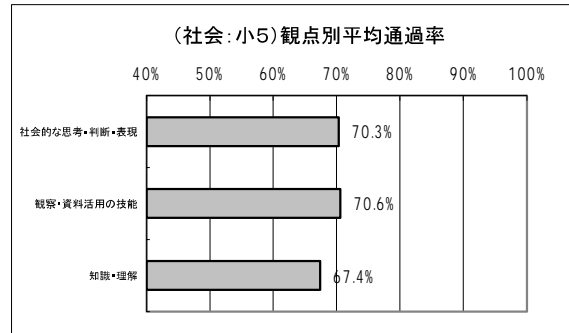
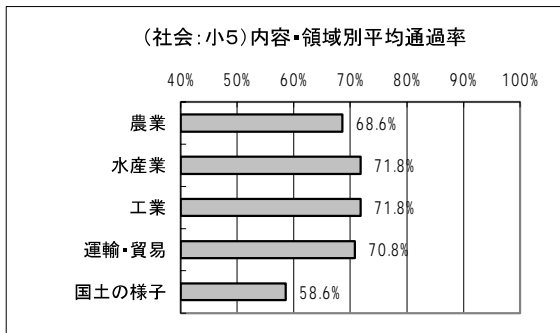
(2) 【社会】

学年別平均通過率

小5 69.2%

中1 69.6%

中2 63.4%



小学5年

- 内容・領域別では「水産業」「工業」「運輸・貿易」、観点別では「社会的な思考・判断」、「観察・資料活用 of 技能」は、通過率が70%程度であり、概ね定着しているといえる。
- 「国土の様子」では、新潟の気候の特色に関する問題（同42.7%）等、「知識・理解」では、北方領土の名称を記述する問題（同47.4%）等に課題がみられた。

中学1年

- 内容・領域別では「日本の地域構成」「身近な地域」「歴史の流れと地域の歴史」、観点別では「知識・理解」は、通過率が70%程度であり、概ね定着しているといえる。
- 「古代までの日本」では、奴国が金印を授けられた当時の中国の様子に関する問題（同37.5%）等、「社会的な思考・判断」では、我が国の領域の特色に関する問題（同58.4%）等に課題がみられた。

中学2年

- 内容・領域別では「世界の地域構成」「身近な地域」は、通過率が70%程度であり、概ね定着しているといえる。観点別ではすべての観点で通過率が70%以下であり、特に「社会的な思考・判断」の通過率が低い。
- 「世界の国々」では、アメリカ合衆国にくらす人々の構成に関する問題（同46.0%）等、「社会的な思考・判断」では、インド大反乱の理由について記述する問題（同23.3%）等に課題がみられた。

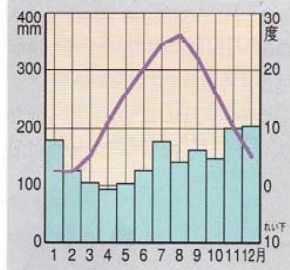
【 特に定着を図りたい問題 <小5社会> 】

1 (3) 次の資料は新潟の気候を示したグラフです。グラフを参考にしながら、新潟の気候の特色について正しく説明しているものを下のア～エの中から一つ選び、その記号を の中に書きましょう。

ア 日本海側は冬に梅雨があるので、冬に雨が多く降ります。
 イ 日本海側からの季節風が山地にぶつかり、冬に雪が多く降ります。
 ウ 冬は台風が日本海側からくるため、冬に雨が多く降ります。
 エ 太平洋側からの季節風が山地にぶつかり、日本海側では、冬に雪が多く降ります。


通過率 42.7% / 無解答率 1.1%

(資料) 新潟の気温と降水量



(2009年刊 理科年表)

10 (3) 次の写真とその説明をもとにしながら、写真にうつっている工業地帯または工業地域の名前を下のア～エの中から一つ選び、 の中に書きましょう。



関東地方にあるこの工業地帯または工業地域にある港には、大型のタンカーや貨物船が出入りしています。

ア 関東内陸工業地域 イ 京浜工業地帯
 ウ 東海工業地域 エ 北陸工業地域

通過率 42.9% / 無解答率 1.5%

- 1の(3)は、資料を基に新潟県の気候の特色について正しく説明しているものを選択する問題であり、今回通過率が一番低かった。我が国の気候については、四季の変化が見られることや国土の南と北、太平洋側と日本海側では気候が異なることなど、大まかな特色について理解を深めさせたい。具体的には、例えば、日本各地の雨温図を基に、気温と降水量の違いなどに着目させるとともに、それらの違いが起こる原因について、季節風の影響や地形条件等との関連から捉えさせることが重要である。
- 10の(3)は、写真とその説明文を基に、工業地帯（地域）の名称について正しいものを選択する問題であり、通過率が低かった。我が国の主な工業地帯（地域）については、地図を活用して、その名称や位置を確認させるとともに、諸資料を基に工業生産の特色について理解を深めさせたい。具体的には、例えば、分布図や統計資料などの活用図をり、主な工業地帯（地域）の分布や工業生産の現状、特色について調べさせるとともに、立地条件や輸送条件などについて考えさせ、文章や自地図等にまとめさせるなどの工夫を行いたい。
- このほか、資料「日本の主な漁港の水あげ量」の枕崎港に示されている数字は何を表すか、記述する問題の通過率（46.8%）が低かった。この問題は昨年度と同一問題である。引き続き、資料を読み取る視点等について繰り返し指導を行い、基礎的・基本的な技能の確実な習得を図っていくことが重要である。

【 特に定着を図りたい問題 <中1社会> 】

- ④ (4) 下の資料2は、カードCの時代に、日本(倭)の奴国の王が中国の皇帝から授けられた金印である。この金印が授けられたころの中国の様子として最も適当なものを、下のア～エから一つ選び、記号で答えよ。

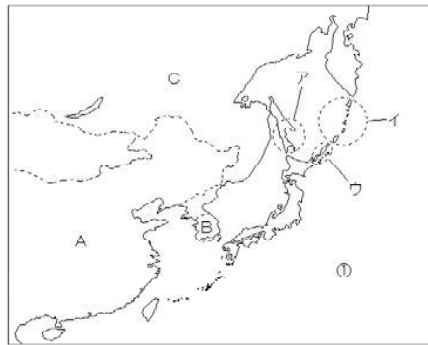
(資料2)



- ア 殷という国がおこり、優れた青銅器や漢字のもとになった甲骨文字がつけられた。
 イ 秦の始皇帝が、中国を統一する大帝国をつくり上げた。
 ウ 漢が中国を支配し、朝鮮半島北部から中央アジアにまで領土を広げた。
 エ 唐が中国を支配し、律令などの法律をつくり支配の仕組みを整えていった。

通過率 37.5% / 無解答率 0.2%

- ② (2) 日本固有の領土であり、現在日本政府がロシア政府に対して返還を要求している北方領土を、地図中のア～ウから一つ選び、記号で答えよ。


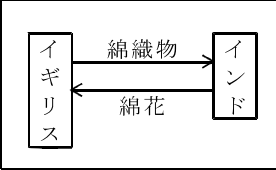


通過率 56.1% / 無解答率 0.1%

- ④の(4)は、奴国が金印を授けられた頃の中国の様子について正しいものを選択する問題である。この問題は例年出題されており、通過率も低かったことから、今回も出題したが、今回通過率が一番低かった。ここでは、大和朝廷による統一の動きという大きな歴史の流れを東アジアとの関連から捉えさせたい。具体的には、例えば、奴国や邪馬台国、その後の大和朝廷による国内統一等と、中国等の東アジアとのかかわりを年表等で確認させたり、図表等でまとめさせたりすることで、古代日本の国家が形成されていく過程について理解を深めさせることが重要である。
- ②の(2)は、北方領土の正しい位置と領域について正しいものを選択する問題である。昨年は、北方領土の名称について出題した。今回は、平成19年度(通過率53.8%)と同様、その位置と範囲について出題したが、通過率が低かった。同様に、資料を基に日本の経済水域面積と領土面積の特色について記述する問題も通過率(58.4%)が低かった。これらのことから、北方領土も含め、日本の国土の位置と領域の特色や変化については、地図等を活用して理解を深めさせたい。具体的には、例えば、地図等の積極的な活用を図りながら、機会あるごとに、北方領土も含めた国土の位置及び領域について、緯度や経度の関係だけでなく、近隣の国々との位置関係等広い視野から捉えさせるとともに、白地図にまとめさせるなどの工夫を行いたい。

【 特に定着を図りたい問題 <中2社会> 】

- ⑥ (4) 下線部④のイギリスに対して、インドでは1857年に反乱が起こった。その理由の一つとして考えたことを、資料4～資料6をもとに、下のようにまとめた。□にあてはまる文を考え、まとめを完成させよ。ただし、「機械」という語句を必ず使って書くこと。

<p>(資料4) 蒸気機関で動く機械を使う綿織物の工場(イギリス)</p> 	<p>(資料5) 19世紀後半のイギリスとインドの貿易</p> 	<p>(資料6)</p> <p>イギリス製品の普及は、インド手工業を死滅させた。しかし、もっとおそろしい面がある。仕事をうばわれた職人たちはどうなるのだろうか。</p> <p>ネルー『父が子に語る世界歴史』より</p>
---	---	---

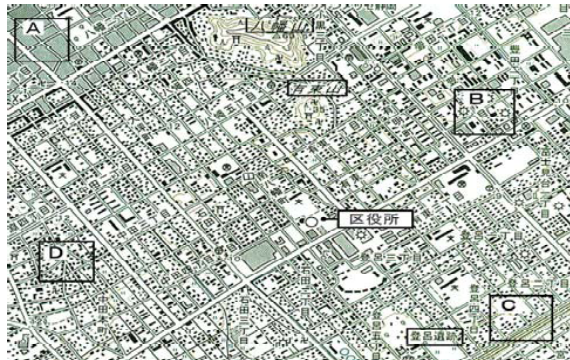
インドでは綿織物づくりがさかんだった。しかし、のちにイギリスが□。その結果、インドの綿織物づくりはおとろえ、イギリスの支配に対するインドの人々の不満が高まった。

通過率 23.3% / 無解答率 15.6%

- ③ (3) 資料1の地形図の縮尺は、2万5千分の1 (資料1)

である。区役所から有東山までの直線距離は、拡大する前の地形図上ではかると約2cmである。実際の距離は約何kmか。下のア～エから一つ選び、記号で答えよ。

- | | |
|---------|--------|
| ア 0.5km | イ 1km |
| ウ 5km | エ 10km |



通過率 34.9% / 無解答率 0.4%

- ⑥の(4)は、インドの大反乱の理由について、イギリスの産業革命により、機械で大量生産された安価な綿織物が、インドの綿織物業に影響を与えたことを、諸資料を基に記述させる問題であり、今回一番通過率が低かった。授業においては、諸資料を基に社会的事象の起こった原因や結果、影響等について、考えたことを発表させ、文章や図等でまとめさせるなどの指導が重要である。具体的には、例えば、事象間の関連について、ウェビング図等を活用してまとめさせるなどの工夫を行いたい。
- ③の(3)は、2万5千分の1の地形図から、実際の距離について正しいものを選択する問題である。この問題は例年出題されており、通過率も低かったことから、今回も出題したが、通過率が低かった。縮尺の問題については、乗法や除法、単位換算などの数学で学習したことを活用しながら、地図の見方について理解を深めさせることが重要である。具体的には、縮尺や地図記号、等高線等の見方について繰り返し指導を行い、基礎的・基本的な技能の習得を図っていきたい。

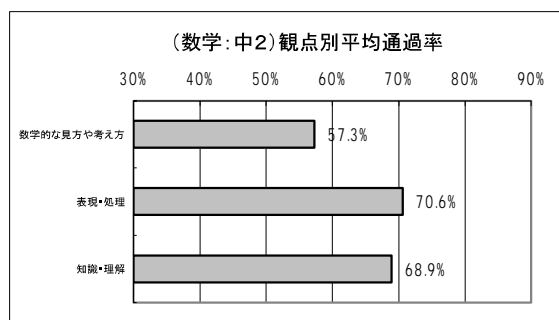
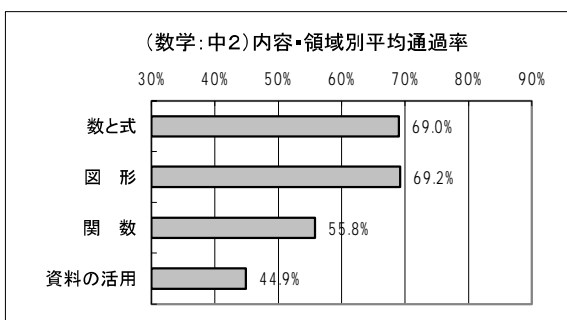
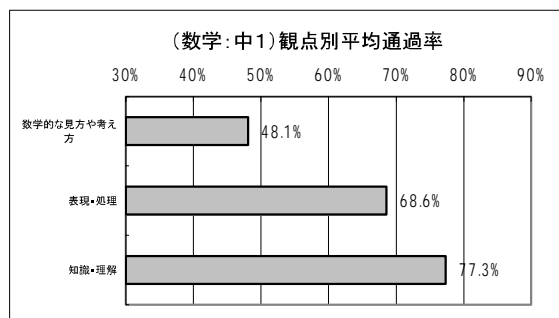
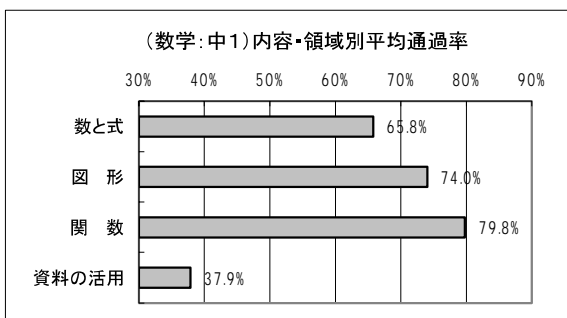
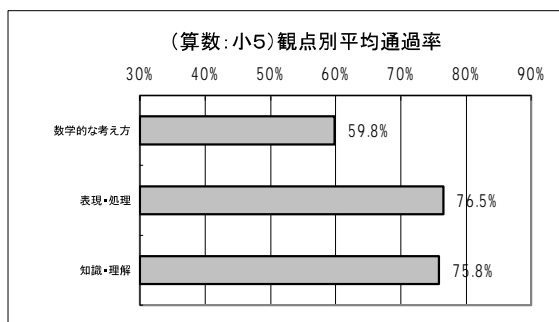
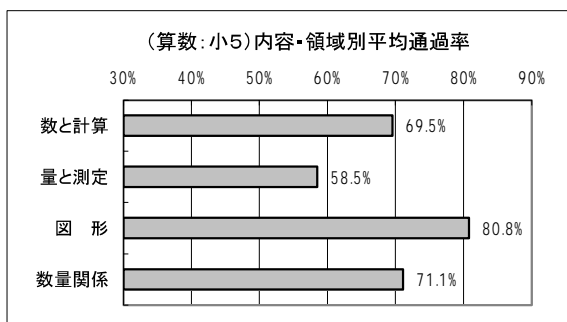
(3) 【算数・数学】

学年別平均通過率

小5 69.6%

中1 66.7%

中2 65.7%



小学校5年

- 全体的に、改善傾向にある。内容・領域別では、「量と測定」、観点別では「数学的な考え方」以外は、通過率が70%程度を超え、概ね定着しているといえる。
- 「量と測定」では、三角形の面積を基に、図の中から三角形の高さを見つけ出して、底辺の長さを求める問題や、平均の求め方を基に、与えられた条件を満たす得点を求める問題の通過率が低い。
- 「数学的な考え方」では、公倍数を正しく求め、その考え方を利用して与えられた条件を満たす数を求めることや、文章題から数量関係を見つけ出し、線分図で表したり、式を読み取ったりすることに課題がある。

中学校1年

- 全体的には、改善傾向にある。内容・領域別では、「図形」、「関数」、観点別では、「知識・理解」の通過率が70%を超えており、概ね定着しているが、内容・領域別にみると「資料の活用」の定着に課題がみられる。
- ただし、「数学的な見方や考え方」について看過できないレベルで低い通過率の内容がある。事柄の中にある数量の関係を見つけ、その関係について文字を用いて表したり、平均の意味を理解し、その考え方が正しくない理由を明らかにして論理的に記述したりする力が不十分である。
- 移行措置の問題については、昨年度より通過率が高くなっており、指導法の改善が図られつつある。

中学校2年

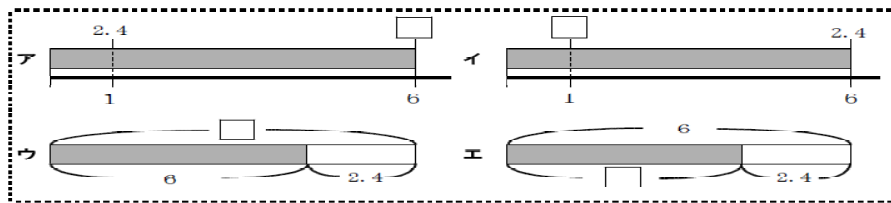
- 内容・領域別では、「数と式」、「図形」、観点別では、「表現・処理」、「知識・理解」の通過率がほぼ70%程度であり、概ね定着しているが、内容・領域別にみると「関数」、「資料の活用」の定着に課題がみられる。
- 「数学的な見方や考え方」については、中学1年時の課題が継続しており、数のきまりについて文字式を用いて説明したり、言葉や式、グラフの読み取り、その相互の関連について筋道立てて思考し、判断したりする力が不十分である。既習内容を意図的に取り上げる学び直しの機会を設定したり、数学的な表現を用いて互いに自分の考えを表現し伝え合ったりするなどの学習活動を積極的に取り入れることが大切である。

【特に定着を図りたい問題<小5算数>】

12 次の(1), (2)の問いに答えましょう。

(1) 下の①, ②の問題を, 図を使って考えました。それぞれの問題にあてはまる図を, **ア~エ**の中から1つ選んで, の中に書きましょう。

- ① ペンキが6 Lあります。このペンキ1 Lでは, 2.4 m^2 のかべをぬることができます。ペンキを全部使うと, 何 m^2 のかべをぬることができるかを考えました。
- ② 家から駅を通って学校まで行きます。家から駅までの道のりは, 6 kmです。駅から学校まで道のりは2.4 kmです。家から駅を通って学校までの道のりは, 何kmかを考えました。



(2) 次の問題の答えを求めるための式を, 下の**ア~エ**の中から1つ選んで, の中に書きましょう。

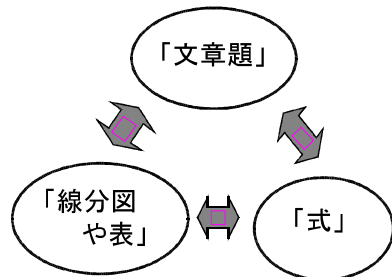
6 mで2.4 kgの重さの鉄のぼうがあります。この鉄のぼう1 mの重さは何kgでしょうか。

ア $6 \div 2.4$
ウ 6×2.4

イ $2.4 \div 6$
エ 2.4×6

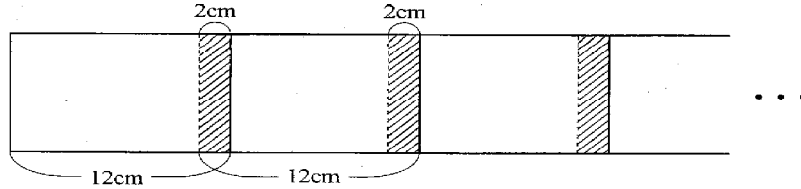
- (1) ① 通過率 58.3% / 無解答率 2.6%
② 通過率 53.9% / 無解答率 3.5%
(2) 通過率 60.1% / 無解答率 2.9%

- 12の(1)は, 小数についての計算の意味や計算の仕方を線分図で捉え, 考えさせる設問である。
- この問題については, 毎年通過率が低く, 改善がみられない。特に, 小数が含まれる問題場面を立式することを苦手としている。小数の意味と大きさについての実感を伴った理解や小数の計算の意味理解が不十分である。また, 文章題の構造を十分把握できていない。
- 小数や分数については, 様々な具体物について大きさを調べたり, 確かめたりする作業的・体験的な活動を積極的に取り入れて, 量の大きさについての感覚を豊かにするよう配慮することが大切である。
- 右図のように, 「文章題」⇒「線分図や表」⇒「式」, 「式」⇒「線分図や表」⇒「文章題」など, 問題を色々な表現で捉える活動を通して, 小数の計算の意味や計算の仕方を考えさせる必要がある。また, 小数の計算の意味と計算の仕方を, 整数の場合の考え方を根拠に「なぜ, そのように考えたのか」を説明させる活動等を充実させる必要がある。
- 小学校学習指導要領解説 算数編 P143~149
鹿児島県チャレンジP 1, 2



【特に定着を図りたい問題<中1数学>】

- 3 けんたくんとさゆりさんは、色紙をつなげた教室飾りをつくろうとしています。下の図のように、横の長さが12cmの長方形の色紙を、重ねる部分が2cmとなるようにつないでいくとき、次の(1)、(2)の問いに答えよ。



- (1) 色紙を3枚つなぎ合わせたときの横の長さは何cmになるか。
 (2) 色紙をn枚つなぎ合わせたときの横の長さをnを用いた式で表すために、けんたくんとさゆりさんは次のように考えた。□A□，□B□にあてはまる式をかけ。

けんたくん 「横の長さが12cmの色紙を重ねないで横にn(枚)並べたとき、全体の横の長さ=12n(cm)となる。」
 さゆりさん 「でも色紙を重ねるから、実際の長さは、12n(cm)より重なった分だけ短くなるね。」
 けんたくん 「じゃあ、色紙をn(枚)つなぎ合わせたとき、重なる部分はいくつできるか調べてみよう。」

色紙の枚数と重なる部分の数

色紙の枚数(枚)	1	2	3	4	...	n
重なる部分の数(か所)	0	1	2	3	...	A

さゆりさん 「この表からわかるように、色紙の枚数がn(枚)のとき、重なる部分の数=□A□(か所)と表すことができるんじゃない。」
 けんたくん 「ということは、2cmの重なる部分が□A□(か所)できるから、重なる部分の全体の長さ=2×(□A□)(cm)となる。だから色紙をn(枚)つなぎ合わせたときの横の長さ=□B□(cm)と表せる。」

- (1) 通過率 43.3% / 無解答率 2.1%
 (2) A 通過率 36.9% / 無解答率 16.0%
 B 通過率 10.7% / 無解答率 21.3%

- 3の(1)は、事柄の規則性を見つけ、具体的に求めることができるかどうかをみる設問である。
- 3の(2)は、事柄の規則性を基に、その数量の関係を文字式を用いて表すことができるかどうかをみる設問である。
- 3の(1)、(2)の設問とも通過率が50%を下回っている。具体的な事象の規則性を見つけたり、帰納的・類推的に考えたりして、一般的な法則を予想して発見することができていない。また、文章題を読み取り、その事象を図や表と関連付けて理解する力が十分でない。
- 数量の関係や法則などを数や言葉の式、□や△などの式に表して、その意味を読み取ったり、数を当てはめたりする活動を行うなどして、文字に対する抵抗感を和らげることが必要である。また、数量の関係を図や表、式に表したり、規則性を見出したりして、その考えを生かしながら、数量を一般化することが大切である。
- 学習指導要領解説 数学編 P58~61
 鹿児島ベーシック P9, 10

【特に定着を図りたい問題<中2数学>】

- ③ 2 すぐるくんは、1のしずかさんの考えを、文字を用いて次のように説明しました。下の **A** にあてはまる式を求めよ。

〈すぐるくんの考え〉

2けたの自然数の十の位の数字を x 、一の位の数字を y とすると、もとの自然数は、 $10x + y$ と表される。

例) $53 = 10 \times \boxed{5} + \boxed{3}$

$$10 \times x + y = 10x + y$$

また、その数の十の位の数字と一の位の数字を入れかえてできる数は、**A** と表される。このとき、この2数の和は、

$$(10x + y) + (\boxed{A}) = 11x + 11y = 11(x + y)$$

$x + y$ は整数だから、 $11(x + y)$ は11の倍数である。

したがって、2けたの自然数と、その数の十の位の数字と一の位の数字を入れかえてできる数との和は、11の倍数である。

- 3 あやのさんは、2けたの自然数と、その数の十の位の数字と一の位の数字を入れかえてできる数との差は、ある数の倍数であることに気づき、すぐるくんの考えを利用して下のよう

に説明しました。あやのさんの考えを完成させ、何の倍数か求めよ。

〈あやのさんの考え〉

2けたの自然数の十の位の数字を x 、一の位の数字を y とすると、もとの自然数は、 $10x + y$ と表される。また、その数の十の位の数字と一の位の数字を入れかえてできる数は、**A** と表すことができる。このとき、この2数の差は、

2 通過率 67.7% / 無解答率 14.3%
3 通過率 29.1% / 無解答率 44.3%

- ③の間2は、例を参考にして、2けたの自然数の十の位と一の位を入れかえてできる数を文字式で表す設問である。

- ③の間3は、予想される事柄が成り立つ理由を示された方針(すぐるくんの考え)に基づいて説明する設問である。この設問の通過率が、29.1%で最も低かった。

また、無解答率は、44.3%で最も高く、文章を読み取れていない状況がある。

- 整数の性質などが成り立つ理由を説明する際には、いくつかの具体的な例を調べることを通して、その理由を説明するための見通しをもたせることが大切である。

例えば、「9の倍数であることを説明するためには、 $9 \times (\text{整数})$ の形を示せばよい。」という見通しを基に、与えられた文字式が $9 \times \square$ の形になるのかを確認する活動を取り入れることが大切である。また、事柄が成り立つことを説明するために、結論とその根拠を、文字式や言葉を用いて記述できるように、繰り返し指導することが大切である。

- 学習指導要領解説 数学編 P88~89

鹿児島ベーシック(中学2年用P3, 4)及び20年度改訂版③, 22年度改訂版①